

4

まとめ(1)

組 番 名前

得点
/40
40点満点

国語・上

1 次の「線部の漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直して書きなさい。」

〈1点×10〉

① 病気が治癒する

② 不吉な予感がする

③ 暴虐な国王

④ 淡色の洋服

⑤ 妥協は許さない

⑥ 任務をスイコウする

⑦ ゴウジヨウな性格

⑧ ナイフをトク

⑨ お金をツイやす

⑩ イッションの出来事

2 次の「かける」の言葉の意味を下から選び、記号で答えなさい。

〈2点×5〉

① 橋をかける。

ア 渡す

② 茶わんがかける。

イ 心にとめる

③ 成績を気にかける。

ウ およぼす

④ 他人に迷惑をかける。

エ ぶらさげる

⑤ 洋服をハンガーにかける。

オ 一部がこわれる

①
②
③
④
⑤

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある日、少年は友だちからジュウシマツという小鳥を二羽もらってきた。もともと昆虫であれ犬であれ猫であれ、動物ならなんでも好きなたちなんだ。

「飼っていいだろう。」とかれは母親に言った。

母親はちよつとむずかしい顔をした。

「それあ……飼ってもいいよ。ただサブが自分でちゃんと世話するならね。」

かれは三郎という名前なのだ。ひとりしかいないのに三郎というのは、きっとふたりの兄が死んでしまったのにちがいない。病気でか、それとも戦争でか……。

「もちろん、よく、自分でみんなやるよ。」とかれは言った。

そして、カナアミ張りの箱を作ったり、家の便所わきの空地に小松菜をうえたり、縄をまるめて巣を作ったり、エサにするあわを買ってきたりした。なに、みんな安いものだ。かれはジュウシマツを箱の中にはなし、その飛びまわる様子を長いこと観察していた。

「これでよし。」とかれは言った。 (長谷川四郎「子どもたち」)

1 線①の意味を書け。 〈5点〉

--

2 線②とあるが、母親はなぜそのような表情を浮かべたのか。 〈10点〉

3 線③とあるが、三郎がジュウシマツの世話をしている様子を具体的に描いた文を探し、最初の五字をぬき出せ。 〈5点〉

(句読点を含む)

第4回

国語・上